

# 令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	総合実習	単位数	2	履修学年・クラス	2B
担当者	環境科学科職員	使用教材					
学習目標	体験的な学習を通して、総合的な技術を習得します。各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てます。						
学習方法	〔土木〕測量士・測量士補受験・公務員受験に向けた学習、各種材料・土質実験等の実技学習 〔緑化〕造園に関わる基礎学習および庭園の管理・施工実習 適宜、ICT機器も活用して理解を深めさせる。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能	〔土木〕測量実習に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、測量の役割を理解している。測量に関する基礎的な技術を身につける。 〔緑化〕造園技術に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、緑化施工の役割を理解している。造園実技や庭園施設施工に関する基礎的な技術を身につける。				
	思	思考・判断・表現	〔土木〕測量実技に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔緑化〕造園実技に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。				
	態	主体的に取り組む態度	〔土木〕測量実技に関する諸課題について興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとする実践的な態度を身につける。 〔緑化〕造園実技や庭園に興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとする実践的な態度を身につける。 定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。				

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	土木系列	基準測量 総合路線(縦断測量)				〔土木〕 〔知〕レベル測量の基礎基本を習得し、迅速で正確な測量データを取得でき整理できる。 〔思〕測量実技に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔態〕測量に関心を持ち、その基礎を積極的に理解しようとする。	・実習態度 ・レポート
	緑化系列	竹垣の作製 樹木の剪定				〔緑化〕 〔知〕造園技術の基礎基本を習得し、竹垣や剪定の意義が理解でき、適切な方法で施工や剪定ができる。 〔思〕竹垣や剪定に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔態〕造園材料や樹木の特性に関心を持ち、その基礎を積極的に理解しようとする。	
前期末	土木系列	総合路線(横断測量) 総合路線(縦断面図横断面図)				〔土木〕 〔知〕レベル測量の基礎基本を習得し、迅速で正確な測量データを取得でき整理できる。 〔思〕測量実技に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔態〕測量に関心を持ち、その基礎を積極的に理解しようとする。	・実習態度 ・レポート
	緑化系列	庭園施設の作成				〔緑化〕 〔知〕庭園施設の正しい用途の基礎基本を習得し、庭園施設の意義が理解でき計画に基づいた施設の施工ができる。 〔思〕庭園様式に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔態〕庭園に関心を持ち、その基礎を積極的に理解しようとする。	
	共通	インターンシップ				〔インターンシップ〕 学科に関連する産業での職場体験を通して、専門科目の学習意義と技術の深化をはかることができる。	

後期中間	土木系列	トラバース測量(測角・測距)				〔土木〕 〔知〕レベル測量の基礎基本を習得し、迅速で正確な測量データを取得でき整理できる。 〔思〕測量実技に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔態〕測量に関心を持ち、その基礎を積極的に理解しようとする。	・実習態度 ・レポート
	緑化系列	花農祭に向けて(トレース実習) 現場見学	○	○	○	〔緑化〕 〔知〕造園製図の基礎基本を習得し、トレース製図の意義が理解でき適切な技法でトレースができる。 〔思〕造園製図に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔態〕造園製図に関心を持ち、その基礎を積極的に理解しようとする。	
後期末	土木系列	トラバース測量(計算・図面)				〔土木〕 〔知〕レベル測量の基礎基本を習得し、正しいデータを取得し迅速で正確な測量データの整理、図面製作ができる。 〔思〕測量実技に関する基本的な知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔態〕測量に関心を持ち、その基礎を積極的に理解しようとする。	・実習態度 ・レポート
	緑化系列	門松の作成 3級造園技能士に向けた学習(庭園施工)				〔緑化〕 〔知〕庭園技術の基礎基本を習得し、造園施工の意義が理解でき迅速で正確な施工ができる。 〔思〕応用的な造園技術と庭園施工に関する知識と技術をもとに自分で考え、判断する力を身につける。 〔態〕門松や造園に関する資格に関心を持ち、基礎を理解しながら、取り組もうとする。	